

# 県中農林ニュース

ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動ニュース



第 27 号（令和 3 年 12 月 28 日発行）

～目次～

○特集	P. 1-2
○農林業関係の動き	P. 2-7
○頑張る農林業者	P. 8
○おいしい6次化商品	P. 9
○各部・各所の紹介	P. 10
○GAP取得者紹介	P. 10

編集・発行 福島県県中農林事務所

【今年度福島県農業賞を受賞された、飛澤良男さん・登久子さん御夫妻（鏡石町）の育てたイチゴです。（県中農林ニュース第 26 号参照）】

## ～特集～

林業アカデミーふくしま研修施設建設工事の起工式を行いました！

【林業研究センター】

12月1日、直前まで降り続けていた雨も止み、薄っすらと見えてきた青空の下、令和4年夏に完成予定の林業アカデミーふくしま研修施設建設工事の起工式を福島県林業研究センター（郡山市）で行いました。

起工式は工事関係者、林業関係団体など参集の中、小柴<sup>こしば</sup>福島県農林水産部長の挨拶で始まり、佐々木<sup>ささきあきら</sup>彰 県議会農林水産委員長や品川<sup>しながわまさと</sup>万人郡山市長より祝辞をいただきました。

また、矢吹<sup>やぶき</sup>福島県林業振興課長より「研修施設そのものが教材」であり、県産材をふんだんに使用し、様々な木材加工技術を直接目にする事ができる林業アカデミーふくしまに相応しいものが建設されると説明があり、出席された来賓の方々から、研修施設への期待の声をいただきました。



【小柴農林水産部長からの挨拶】

## 林業アカデミーふくしま就業前長期研修 いよいよ令和4年4月開講！

【林業研究センター】

令和4年4月より、福島県林業研究センター内に林業アカデミーふくしま「就業前長期研修」を開講します。

この研修は、県内の林業事業体に就業する方を対象とした1年間の専門研修で、林業の知識や技術を基礎から学び、チェーンソーや林業機械の操作に必要な各種資格が取得できるとともに、先進技術や設備を活用した先端林業を研修することができます。

アカデミーの記念すべき第1期生(定員:15名程度)の入講に向けた手続きも始まり、推薦及び一般選考試験を経て、15名の研修生が志を持ち研修をスタートさせます。

現在、アカデミーの開講に向けた準備を着々と進めており、本誌1ページでも紹介していますが、新たな研修施設の建設が林業研究センター敷地内でスタートしたところです。研修施設には、講義室やパソコンルーム、立木を伐倒・造材できる林業機械(ハーベスタ)のシミュレーター室などを完備した「研修棟」と、雨天でもチェーンソー伐倒など実技研修が可能な「実習棟」からなり、県産材をふんだんに使用した暖かみのある研修施設となります。



【林業アカデミーふくしま研修施設イメージパース】

ります。

アカデミーの開講まで残り3ヶ月ほどとなりました。アカデミーで学んだ研修生が「ここで研修を積むことができて良かった」と思える充実した研修機関となるように、準備を進めてまいります。

## ～農林業関係の動き(トピックス)～

### 高校生林業見学会を開催しました！【森林林業部】

10月25日、福島県立岩瀬農業高等学校(鏡石町)の環境工学科1年生36名を対象に、森林整備や木材加工の現場を体感する見学会を開催しました。

これは、林業分野への新規就業者確保を目的とする「緑の青年就業推進事業」の一環として企画したものです。

当日は、午前中に高性能林業機械を活用した素材生産現場を、午後からは高性能機械を活用したチップの生産工場を見学しました。

現場を提供いただいた株式会社アメリカ屋の鈴木専務からは、具体的な現場作業の流れだけでなく、仕事をする上で気をつけている点(安全の確保、作業効率、経営的視点、地域貢献)など、「林業」のみならず「働く」ということについても説明いただき、高校生の皆さんには、将来のキャリアを考える上で大変参考になったようでした。



【高性能林業機械による伐採木搬出の様子】



## 「畑の学校」第4回活動と閉校式を行いました！【農村整備部】



【大根の収穫】

畑の学校の第4回活動を11月2日に、閉校式を11月10日に福島県立たむら支援学校(田村市)において開催し、両日ともに小学部・中学部全学年57名が参加しました。

第4回活動では、6月から育ててきた大根・人参・里芋の収穫を行いました。

児童・生徒からは、「たくさん収穫できて嬉しかった」、「大きく育てていて良かった」などの声が聞かれました。

閉校式では、活動写真をまとめたスライドショーや児童・生徒による感想・活動成果の発表などを通して、これまでの活動を振り返りました。その後、収穫した野菜を使用した給食を味わいました。今回の閉校式をもって、今年度の畑の学校の活動は終了となりました。



【スライドショーに見入る子供たち】

## 木工体験（木とのふれあい創出事業）の実施！【森林林業部】

11月26日、郡山市立穂積小学校の3、4年生を対象に、図工の時間を利用して木工体験授業を行いました。

福島県もりの案内人<sup>こまつまさよし</sup>小松雅喜さんと山田<sup>やまだいさお</sup>功さんが講師となり、のこぎりの使い方や釘の打ち方を説明した後、児童達による体験となりました。

のこぎりを使った丸太切りでは、丸太を切り終わるまで時間がかかり、「腕が筋肉痛になりそう」との声が上がっていました。また、釘を使っての作品づくりでは、木材を組み合わせ釘を打ち、世界にひとつだけの作品を思い思いに作っていました。

このような機会を通し、児童達には木材を身近な材料と感じ、木に関心を持ってもらえるようになればと思います。



【道具の使い方を真剣に聞く児童たち】



【一生懸命丸太切り】

## ほ場整備「前田沢、堀之内」地区の竣工式が行われました！【農村整備部】

11月27日、復興再生基盤整備事業（ほ場整備）「前田沢地区」、「堀之内地区」両地区の竣工を祝い、喜久田土地改良区の主催により、現地ほ場にて両地区の記念碑の除幕とJA福島さくら郡山喜久田総合支店（郡山市）において記念式典からなる竣工式が行われました。当所から家久来所長が出席し知事の祝辞を述べられました。

両地区は平成26年度に農地の除染事業を伴うほ場整備事業として着工し、1haの大区画を標準としたほ場として令和2年度に農地約68ha（前田沢38ha、堀之内30ha）が完成しました。

新しいほ場は、以前と比べ担い手へ農地の集積が図られ、農作業にかかる時間の短縮や作業の安全性も向上しました。両地区の完成は、今後の地域農業の発展に確実につながると大いに期待されます。



【前田沢地区における記念碑の除幕】



【知事祝辞を代読する家久来所長】

## 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

### （県産農林水産物PR〈第3回〉）を開催しました！【企画部】

11月28日、JA福島さくら農産物直売施設『あぐりあ』（郡山市）において、県産農林水産物のおいしさなどの魅力をPRする「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

アンケートに回答いただいた方先着20名に今年本格デビューした県オリジナル米「福、笑い」をプレゼントしました。

消費者からは「『福、笑い』を食べてみたかったのでうれしい」などの声が聞かれ、予定した時間よりも早く用意したプレゼントがなくなるなど大変好評でした。

これからも、県産農林水産物の安全性やおいしさのPRと消費拡大を図ってまいります。



【「福、笑い」に喜んでいただきました】



## ピーマン基礎講座を開催しました！【田村農業普及所】

11月30日、田村農業普及所(三春町)でピーマン栽培を「基礎」から「きちんと」「ぎっちり」学べる「ピーマン基礎講座」を、JA福島さくらたむら地区本部後援のもと開催しました。

田村地方は県内ナンバー1のピーマン産地であり、近年新規栽培者が増加している品目です。また、葉たばこから転換される方にもおすすめの品目であることから、本講座を開催しました。

この講座には、葉たばこ栽培からピーマン栽培への転換を考えている方やピーマンの栽培経験の浅い方、令和4年度から新規栽培を計画している方を中心に31名の参加がありました。

参加者からは、「今まで疑問だったところを知ることができた」、「栽培管理の重要なポイントが理解できた」といった声がありました。

当所では、今後も田村地域を代表する品目であるピーマンの新規栽培者の技術習得支援を行ってまいります。



【熱心に説明を聞く参加者】

## 県中地方特定家畜伝染病防疫演習を実施しました！【農業振興普及部】

11月30日、福島県農業総合センター(郡山市)において、県中地方特定家畜伝染病防疫演習を実施しました。

市町村・関係機関など114名が参加し、伝染病の概要や発生時の対応などについて座学を行った後、3班に分かれて作業内容の確認や会場の設営を行いました。

午後は、初の試みとして県本部と合同での体験型演習を実施しました。大型バスにより県庁から動員者が集合し、作業前の準備や農場内での作業、作業後の脱衣手順、車両の消毒手順を確認しました。

参加者からは、「今回のような大規模演習を繰り返して習熟した方がよい」、「実践してみると難しさを感じた」などの意見が寄せられました。

今後も、家畜伝染病予防に係る飼養衛生管理基準遵守の呼びかけと、有事の際の体制整備に努めていきます。



【防護服着衣の様子】



【鶏(模型)を捕まえる動員者】

## 「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」開催中です！【農業振興普及部】



本研修会は、新規就農者などを対象として全6回シリーズにより、農業経営に必要な基礎的な知識や技術への理解を深めることを目的として開催しています。

第3回目の今回は、12月2日に税務編として開催し、若手農業者など20名の出席がありました。

研修会では、株式会社深澤会計の深澤<sup>ふかざわこうじ</sup>広守代表取締役を講師に、農業に関する税や青色申告のメリット、相続について学びました。

事業年度末が近づき、確定申告の時期を迎える出席者からは、多数の質問が寄せられ、活発な質疑応答が行われました。また、「記帳の方法が知りたい」等の声が聞かれるなど、有意義な研修会となりました。

第4回は本誌8ページの「きゅうりセミナー」を行いました。今後は、第5回として「GAPの概要と実践のポイント（1/31）」、第6回として「食材として郡山農産物に期待すること（2月22日）」の研修を予定しています。



【深澤講師による講演】

## 令和3年度経営管理能力向上研修を開催しました！【田村農業普及所】

12月3日、8～10日の4日間、福島県三春合同庁舎（三春町）で新規就農者や青色申告を目指す方などを対象に、当所と田村地域就農支援プロジェクトの共同で「令和3年度経営管理能力向上研修」を開催しました。

第1弾として、12月3日に宗像<sup>むなかたすみたか</sup>住孝税理士事務所長より「税と農業複式簿記の基礎」について、福島県農業共済組合の入部<sup>いりべよういち</sup>陽一収入保険課長より「収入保険制度」についてそれぞれ説明をしていただき、12名が受講しました。

第2弾の12月8日～9日の2日間は11名が受講し、「パソコン農業簿記の基礎」についてソリマチ株式会社の門田<sup>もんでんゆたか</sup>豊 東北ブロックリーダーを講師に招き、実際にパソコン操作をしながら演習を行いました。

第3弾の12月10日は、パソコン農業簿記の実践者を対象に「日頃のソフト使用中の疑問点」などについて第2弾と同じソリマチ株式会社の門田東北ブロックリーダーに回答していただく形で行い、4名が受講しました。

受講生からは、「複式農業簿記は難しかったので、来年も受講したい」、「パソコン農業簿記を始めて青色申告に取り組みたい」といった声が聞かれました。

今後は、受講生の意見を参考に、次年度以降の研修内容について検討し、より効果的な経営支援を行っていきたいと考えております。



【宗像講師による税と農業複式簿記の講座】



【門田講師によるパソコン農業簿記の講座】



## グリーン・ツーリズムモデルツアーを実施しました！【企画部】

12月7日、グリーン・ツーリズムモデルツアー（主催：石川地方グリーン・ツーリズム推進協議会）を開催しました。構成員14名が、森の駅 yodge（玉川村）、農園 cafe やい子ばあちゃん（石川町）、ふるさと工房おざわふぁーむ（古殿町）を訪れ、ツアーへ参加する方の目線で体験活動を行いました。

森の駅 yodge ではひょうたんランプづくり体験を行い、簡単におしゃれなランプを作ることができ大好評でした。

農園 cafe やい子ばあちゃんでは、地元産野菜をたっぷり使った料理に、「家庭で使う材料でこんなにおいしく食べられるとは」と驚きの声も聞かれました。

ふるさと工房おざわふぁーむでは、あげまんま<sup>※</sup>づくりや凍み餅アレンジを行い、家庭にある材料で簡単にできるため「ぜひ家族や友人、知人など、たくさんの人に教えてあげたい」と口にしていました。

このツアーを通してグリーン・ツーリズムの受け入れ体制が更に強化されることが期待されます。



【ひょうたんランプづくり体験  
（森の駅 yodge）】



【あげまんまづくり体験  
（おざわふぁーむ）】

※ごはんに味噌、米粉又は小麦粉を混ぜ、一口大に小分けし丸めて潰し油で揚げ、甘辛いたれを絡めた古殿町の郷土おやつ。

レシピはこちら⇒



## 都市と農村の交流について学びました！【企画部】

12月16日、福島県郡山合同庁舎（郡山市）において、都市と農山村地域の交流による地域振興やネットワークの強化を図るため、県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会、農家民宿・民泊セミナーを開催しました。

交流会、セミナーでは、二本松市で農家民宿遊雲<sup>ゆううん</sup>の里を営む菅野正寿<sup>すげのせいじ</sup>さんを講師にお迎えし、持続可能な環境・循環・共生の社会をつくるために都市と農山村の新しい関係をどのように構築していくかについて講演をいただきました。

続いて、郡山ふるさと田舎体験協議会事務局のなかがたり<sup>なかがたり</sup>ようへい<sup>ようへい</sup>さんより、コロナ前後での活動内容の変化や今後の課題などについて発表がありました。

また、管内各協議会より今年度の活動や来年度の計画について報告があり、参加者同士で情報共有と意見交換を行いました。

今後とも、都市と農山村交流による地域振興に努めてまいります。



【菅野講師による講演】

## きゅうりセミナーを開催しました！【農業振興普及部】

12月17日にNOSA I 福島いわせ石川支店(玉川村) (オンライン会場としてJA福島さくら日和田総合支店をサブ会場)において「きゅうりセミナー (令和3年度県中地方園芸振興セミナー)」を開催しました。

県中地方は全国有数のきゅうり産地であり、首都圏などの消費地への供給基地として持続的な発展が期待されています。その一方、難防除病害である「ホモプシス根腐病」の発生により収量の低下が課題となっています。

これらの課題を解決するため、キュウリホモプシス根腐病研究の第一人者である岩手県農業研究センターの岩館康哉<sup>いわだてやすや</sup>主査専門研究員を講師に、病虫害対策のポイントについて講演をいただきました。また、資材メーカー3社から対策資材のポイントについて説明がありました。

セミナーにはオンライン会場を含め120名の参加者があり、終了後も活発な質疑応答が行われました。

これからも、管内のきゅうり産地の取組に注目ください！



【岩館康哉講師による講演の様子】

## ～頑張る農林業者～

### ☆安田 悟さん(田村市)☆

「きのこの王子」を自称する安田<sup>やすださとる</sup>悟さんは、令和2年1月から田村市船引町移地区で菌床キクラゲ3,000菌床+菌床しいたけ4,000菌床+露地アスパラガス3aによる農業経営を行っています。



【今年から菌床数を増やしての栽培となるハウスの様子】

安田さんは会社員として過ごす中、実家の農機具類を売却する話が浮上したことを受け一念発起。きのこ類の中でも輸入品が97%を占めるキクラゲに勝機を見出し、独自に研修先を見つけ農業に参入しました。

現在は飲食店とコラボしたキクラゲレシピの開発、6次化商品の開発など地元の異業種とも積極的に連携しています。

将来的には法人化し、地域の雇用創出や地域活性化の一助になることを目指しています。

【当所主催の経営管理能力向上研修(6ページ参照)にも屋号の移ヶ茸Tシャツとしいたけネックレスをつけて参加してくれた安田さん】





## ～おいしい6次化商品～

### 夢・菓子工房 かめまん(株式会社亀饅(須賀川市))のサイコロ食パン

老舗のお菓子屋さんが作った本気の食パン！

「ふくしま満点堂プレミアム2020」において準グランプリを受賞しました！  
一般的な食パンよりもずっしりしていて食べ応えバツグン！

それでいてしっとりふわふわの口あたりにもちもちの食感で、あっという間にペロリと食べてしまいます。(食べ過ぎ注意( ^ω^ )・・・)

その秘密は須賀川産玄米の米粉を小麦粉とブレンドし、さらに、なんとケーキに使うものと同じ高級生クリームをたっぷり使用！

ほかにも、砂糖よりもはちみつが多く使われていたり、仁井田本家(郡山市)の料理酒「旬味」も入っていたり・・・おいしい秘密がたくさん！

手土産にも人気なので、ご家族、友人の方などと、他にはないお菓子屋さんの食パンの美味しさを楽しんでみてはいかがでしょうか。

毎日11時頃、焼きあがり店頭並ぶそうです。(売り切れ注意ですのでお早めに！)



水分含量 85%!

幸せな  
ずっしり感



**お菓子屋の高級食パン  
サイコロ食パン(プレーン)**

株式会社亀饅

ふわっと軽やか、とろけるような口どけなのに、驚くほどの重厚感！  
ケーキと同じ「高級生クリーム」を贅沢に使用し、水分含量85%で、驚くほどのしっとり感。  
仁井田本家の料理酒「旬味」、たっぷりのはちみつ、自社オリジナルブレンドの小麦を使用しています。

**満天**  
プレミアム  
2020

ふくしま満天堂  
ふくしまプライド。



耳までもっちり

夢・菓子工房 かめまん

本店 〒962-0014 須賀川市西川町 45  
TEL 0248-73-2751

仲の町店 〒962-0852 須賀川市仲の町 186  
TEL 0248-94-7007

## 各部・各普及所の紹介 ～須賀川農業普及所～

須賀川農業普及所は、所長、次長をはじめ、地域農業推進課6名、経営支援課8名の計16名で業務を行っております。

須賀川市花岡（牡丹園の向かい）に事務所を置き、須賀川市・鏡石町・天栄村・石川町・玉川村・平田村・浅川町・古殿町の8市町村を管轄し、各市町村や関係機関と連携して地域農業の振興と農業者の技術・経営支援を行っております。

特に、当地域は全国有数のきゅうりの産地であり、栽培経験の浅い方を対象にした「きゅうり基礎力アップ研修会」を開催するなど、産地の更なる発展を支援しています。

各種農畜産物の生産技術に関する相談だけでなく、新規就農やGAP認証取得、鳥獣被害対策など農業全般に渡る相談を受け付けておりますので、お気軽にお電話・ご来庁ください！

（住所：須賀川市花岡 34-2 TEL0248-72-3080）



【きゅうり基礎力アップ研修会（現地研修）】

## GAP取得者紹介



【左から鈴木さん、伊東須賀川普及所長、内山さん】

すずきこういち  
①鈴木孝一さん（須賀川市）  
②FGAP（米）  
③「2年前には果樹で取得し、今回は米で取得できた。安全性を大切にして生産していきたい」

うちやまゆきよし  
①内山幸義さん（天栄村）  
②FGAP（米）  
③「10年前にJGAPを取得したが、原発事故がありGAPどころでなくなってしまった。今回もう一度頑張って取得できてよかった」

### 【GAPの種類】

GLOBAL G. A. P. : 国際的に広く適用する第三者認証GAP

ASIA GAP : 日本発の国際基準認証

JGAP : 日本のデファクトスタンダードのGAP

FGAP : 福島県が創設した公的認証GAP

- ① 氏名（市町村）
- ② GAPの種類  
（取得した品目）
- ③ 取得者から一言

お問い合わせはこちら

【編集・発行】

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540

郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314

